

広域観光・文化振興の取組

■「関西観光・文化振興計画」に沿った施策の展開

平成 24 年 3 月に、関西から日本の元気を取り戻し、観光から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げて「関西観光・文化振興計画」を策定。本年 3 月の連合議会で、ゴールデン・スポーツイヤーズを控えたスポーツ観光の推進、文化庁の本格移転を契機とした文化観光の推進、一般財団法人関西観光本部を中心とした推進体制への確立などの内容を盛り込み、計画の改定を行いました。

この新たな計画に基づき、観光・文化振興に取り組む自治体や関係機関、経済団体等と連携し、関西一体となった戦略的な取組を進めています。

現行計画に掲げた将来目標等

- ・ 将来目標 関西の将来像を「アジアの文化観光首都・関西」としての地位の確立とする
- ・ 数値目標 関西を訪問する外国人客数 1,800 万人(2020 年)を目指すなど

<目標の達成に向けた7つの戦略>

1. 国際競技大会等を踏まえた観光の推進

国際的なスポーツイベントと連動した誘客の推進、文化プログラムの推進、スポーツ・ツーリズムの推進

2. 文化力の向上と文化観光の推進

「文化首都」としての関西文化の発信、文化庁との連携、文化芸術資源をテーマでつなぐ「文化の道」事業の展開など

3. 外国人観光客の急増対策としてのインフラ整備の充実

「KANSAI ONE PASS」「KANSAI Wi-Fi (official)」の利便性向上、IoT・ビッグデータなどの新技術の活用など

4. 「KANSAI」のさらなる知名度アップ

世界水準の広域観光周遊ルートの推進「KANSAI 国際観光 YEAR」の展開、「KANSAI」の世界への発信など

5. 旅行消費拡大に向けた取組

「モノ消費」「コト消費」を促す情報発信強化、決済環境の変化に対応した整備など

6. 関西観光本部を中心とした推進体制の確立

旅行者の動向把握等によるマーケットの創出、「関西文化の日」など文化に親しむ機会の充実など

7. 今後のさらなる展開

IR 法等を見据えた観光・MICE の連携、通訳案内士やボランティア等の育成など

○平成 30 年度予算

「関西観光・文化振興計画」に沿って、平成 30 年度に特に戦略的に取り組むことについて、平成 30 年度当初予算では、112,862 千円を計上しています。

平成 30 年度分野予算

○ KANSAI ブランドの構築 (52,000 千円)

KANSAI 国際観光 YEAR の実施、海外プロモーションの実施、関西観光本部事業、ジオパークの活動の推進 など

○ 基盤整備の推進 (30,452 千円)

通訳案内士の人材育成、地域の魅力を活かす地域づくり事業

○ 関西文化の魅力発信事業 (30,000 千円)

関西文化の振興と国内外への魅力発信、世界文化遺産等発信事業、新たな関西文化の振興 など

○ 総務費 (410 千円)

■平成 30 年度の取組状況

○KANSAI ブランドの構築

世界の観光マーケットにおいては、関西(KANSAI)ブランドの優位性を確保するため、「関西」という一つのブランドで積極的に海外に向けて発信する取組を展開します。

(1) 「KANSAI 国際観光 YEAR」

国際観光圏「KANSAI」のブランドを世界に売り込むため、世界に誇る関西の魅力や強みを毎年 1 つのテーマに絞って発信する「KANSAI 国際観光 YEAR」を展開しています。

2018 年は、「関西の文化観光」をテーマに、平成 30 年 3 月 27 日、28 日に 関西国際空港でキックオフイベントを開催し、海外からの来場者に対して、関西各地で生産された日本酒の試飲や書道の体験、関西の世界遺産を紹介するパネルの展示など関西各地の文化、観光について PR 等を行いました。

<参考> 2013 年「関西の食文化」、2014 年「関西のマンガ・アニメ等」、
2015 年「関西の世界遺産等」、2016 年「関西のスポーツ観光」、
2017 年「食を楽しむ観光」



関空国際空港で外国人観光客向けキックオフイベントを実施

(2) 海外プロモーションの実施

「関西」をさらに魅力ある観光圏としてアピールするため、関係団体との連携のもと海外へのプロモーションをこれまで12回実施し、歴史や文化など関西の多様な魅力を紹介するなど、KANSAIブランドを発信しています。

平成30年度は、国別の訪日外客数（2017年）及び一人当たりの旅行支出（2017年）がともに1位である中国をターゲットに、関西への観光誘客の促進と認知度の向上を図ります。

- ・日 時 平成30年11月下旬
- ・都 市 西安市、北京市
- ・団 長 西脇広域観光・文化担当委員
- ・内 容 政府要人・旅行団体等への訪問、観光プロモーション等を実施

関西広域連合トッププロモーションの実績（平成23年度～平成29年度）				
年度	訪問先	日程	参加者	主な内容
23	中国	2011/ 07/20～23	井戸連合長、山田委員、嘉田知事、平井知事、森関経連会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、フォーラム、観光セミナー
	韓国	2011/ 09/18～20	山田委員、平井知事、森関経連会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、観光セミナー
24	韓国	2012/ 8/1	山田委員、秋山連合協議会会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、観光セミナー
	中国	2012/ 09/11～13	井戸連合長、山田委員、嘉田知事、森関経連会長ほか	観光セミナー、レセプション
	シンガポール	2013/ 02/17～19	山田委員、秋山連合協議会会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、観光セミナー、レセプション
	マレーシア			
25	中国	2013/ 09/13～16	井戸連合長、山田委員、嘉田知事、森関経連会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、観光展、観光セミナー、レセプション
	香港			
	タイ	2014/ 02/20～21	事務局	旅行博でのPR、政府機関・旅行事業者訪問
26	タイ	2014/ 11/19～21	井戸連合長、山田委員、福島関空会社会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、レセプション、観光セミナー・観光展・物産展
	マレーシア			
27	フィリピン マレーシア	2015/ 09/18～21	山田委員、福島関空会社会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、レセプション、観光セミナー・観光展
	ベトナム	2015/ 11/27～29	井戸連合長、秋山連合協議会会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、レセプション、テレビ局訪問、観光ブース
28	台湾	2016/ 8/30～9/2	山田委員、滋賀・大阪・奈良・鳥取・徳島の各副知事、田中関西エアポート執行役員ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、レセプション、観光セミナー・観光展
	香港			
29	オーストラリア ニュージーランド	2017/ 4/16～4/23	山田委員、滋賀・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・徳島の各知事(副知事)、山谷関西エアポート代表取締役社長ほか	政府関係者・商工団体、航空会社等との会談、レセプション、ワールドマスターズゲームズ・オークランド大会開会式出席

(3) 観光本部事業

「関西観光・文化振興計画」の推進役として、関西広域連合を含む官民が一体となり設立された一般社団法人関西観光本部が、スポーツ観光や文化観光など関西をアピールする様々な観光プロモーションや、参画団体の個性を活かした関西ならではの連携事業等を展開しており、その費用の一部を負担しています。

〈関西観光本部の主な活動〉

- ・アジア、欧米豪での旅行博等観光プロモーションの実施
- ・KANSAI ONE PASS や、KANSAI Wi-Fi(official)の推進、多言語コールセンターの設置、宅配便を活用した手ぶら観光の普及などの環境整備
- ・広域観光周遊ルート「美の伝説」のPR や着地型観光等の新たな観光素材の発掘による魅力向上 など

(4) ウェブ等による情報発信

より情報の発信力を高めるため、一般財団法人関西観光本部のHPである「KANSAI Tourizum」に関西広域連合のWEBを統合し、従来からのSNSも合わせて多言語による情報発信を行っています。

(5) ジオパーク活動の推進

関西広域観光の幅を広げ、外国人観光客の関西圏内の周遊を促進するため、関西にある優れた地質景観スポットを提案・PRを実施しています。

平成30年度は「KANSAI Tourizum」内でジオパークに関する情報を適切に紹介するコンテンツを作成するとともに、訪日外国人のジオパーク周遊を容易にするため、スマートフォンで交通手段や宿泊の情報等を入手できる案内システムの構築を図ります。



○基盤整備の推進

(1) 地域の魅力を活かす関西周遊環境整備事業

平成30年度は、国の地方創生推進交付金事業等を活用し、全国通訳案内士や地域通訳案内士、無資格のガイドを対象に研修を行うとともに、通訳案内士のマッチングを支援するウェブサイトの制作し、通訳案内士の活躍の場の拡大と就業率の向上及び関西の通訳ガイド全体の質の向上を図ります。

また、関西各地の文化施設に関する情報に位置情報アプリを活用して、多言語で紹介するシステムの構築や東映アニメーション株式会社との連携による、アニメのキャラクターを活用したデジタルスタンプラリー事業を実施し、関西全体への誘客及び観光周遊促進を図ります。

【統一ロゴ】



※統一のロゴを制作し、関西観光本部や構成府県市の広報物等で活用

○文化振興の取り組み

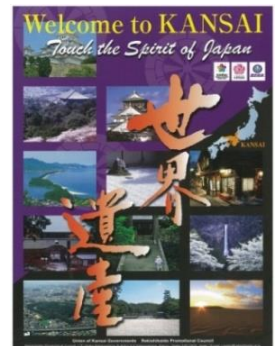
(1) 関西文化の振興と国内外への魅力発信

関西2府8県の美術館・博物館・資料館等の文化施設等の協力を得て常設展等を無料とする「関西文化の日」を実施しています。平成30年度は11月17日(土)・18日(日)を中心に関西文化の日を実施し、関西が誇る長い歴史に培われた豊かな文化資源に気軽に接する機会を提供します。また、11月を「関西文化月間」と位置づけ、リニューアルを図る関西文化情報サイト「関西文化.com」により、幅広く情報を発信していきます。



(2) 世界文化遺産等発信事業の推進

関西広域連合エリアは、古墳時代から戦国・江戸時代まで国内でも有数の世界文化遺産集積地になっており、観光分野・関係団体とも連携し、フォーラムの開催やリーフレットの作成など、広く無形文化遺産や世界の記憶、ジオパーク、百舌鳥・古市古墳群をはじめとする世界遺産暫定リスト登録遺産等も含めて一体的に情報発信を行い、関西としての気運を盛り上げています。平成30年度は明治150年の節目に関西文化について考えるフォーラムを、歴史街道推進協議会・文化庁地域文化創生本部との共催により開催しました。



(3) 東京オリンピック・パラリンピック等の開催に向けた新たな関西文化の振興

「はなやか関西・文化戦略会議」を設置し、2020年東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスターズゲームズ2021関西などに向けた取組を検討しています。

平成30年度は、平成29年度に引き続き、東京2020オリンピック・パラリンピック等に向け、関西の文化的魅力を全国にアピールするため、関西ならではの文化・芸能の実演を交えた、「はなやか関西『文化の道』フォーラム」を関西圏域外で展開することとしています。

